

学びのドリームプラン

第4学年3組 学級活動（1）

議題：家族に感謝の気持ちを伝える方法を考えよう
 (ア) 学級や学校生活における生活上の諸問題の解決

指導者 蔵本 憲吾

児童の願い

学年のテーマである「スクラム学級」に向けて、自分たちの力で学級をよりよくしたい。



ゴール

学級会で、学級全員が二分の一成人式を成功させるための話し合いを通して、学級をよりよくするための話し合いができるクラスにする。

学びのモニタリングの視点(育成したい資質・能力)

	A	B
【主体性】	<ul style="list-style-type: none"> 学級会での話し合いの進め方に沿って、学級生活に問題意識をもち、他の児童と協力して主体的に集団活動に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級会での話し合いの進め方に沿って、学級生活に問題意識をもち、他の児童と協力して集団活動に取り組もうとしている。
【思考力】	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの中で、自己の役割や責任、集団としてのよりよい解決方法を考えたり、提案理由に基づいた根拠を明確にして考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの中で、自己の役割や責任、集団としてのよりよい解決方法などについて考えている。
【自己理解】	<ul style="list-style-type: none"> みんなで考えた取組の意義や価値などに気付き、活動を通して、自他のよさについて理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動を通して、自他のよさについて理解を深めている。

本単元で付けたい力

- 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動をする上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 【知識及び技能（何を知っているか、何ができるか）】
- 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力（知っていること、できることをどう使うか）】
- 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等（どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか）】

「課題発見・解決学習」の過程（全3.5時間）

学 習 活 動	育成したい資質・能力
休憩時間 ○学級で話し合いたいことを議題カードに書き、議題ボックスに入れる。 ・学級の課題や学級をよりよくするために話し合いたいことを見付ける。	
休憩時間 ○学級会の計画を作成し、クラス全体で課題意識を共有する。 ・何のために話し合うのか、話し合う議題や提案理由を確認する。 ・司会グループは話し合いの流れやそれぞれの役目を確認する。 ・意見をもって話し合いに参加するために、自分の意見を学級会プリントに書く。	
整理・分析（0.5） ○以前行った学級会の反省を生かし、成果と課題を分析する。 ・成果と課題を明らかにした上で、本時の話し合いを行えるようにする。	思考力
まとめ・創造・表現（1） ○家族に感謝の気持ちを伝える方法について話し合う。 ・理由を明確にして自分の意見を言ったり、提案理由に基づいた根拠を明確にして考えたりする。 【本時】	思考力
実践（1） ○決定した取組を実践する。 ・学級会で決まったことを意欲的に実践している児童を賞賛するとともに、そのがんばりをみんなに広げ、意欲の継続化を図る。	主体性
振り返り（1） ○取組を振り返るとともに、次回の学級力向上アンケートで評価し、身に付いた力を確認する。 ・取組を振り返り、次の学級力向上につなげる。	自己理解

